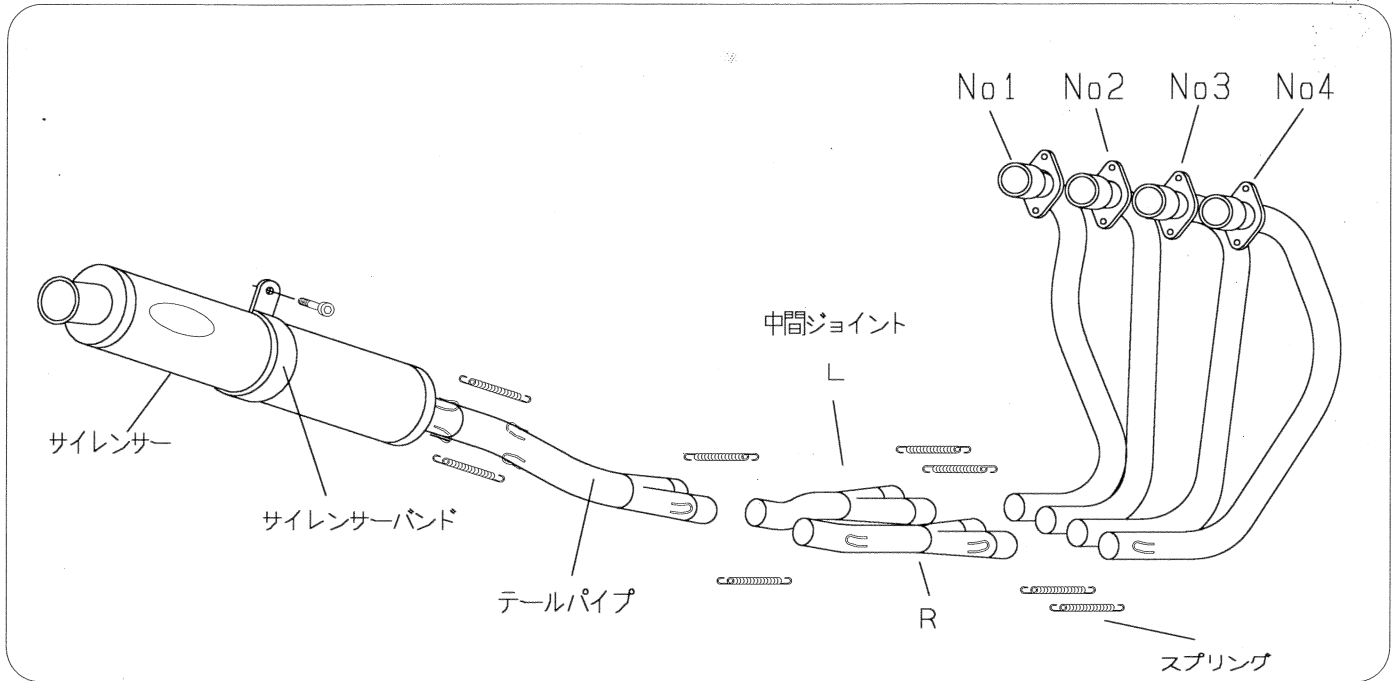


この度は、ノジマ FASARM マフラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
マフラーの取り付けに関しましては、この説明書をよくお読み頂き、必ずエンジンが冷えた状態で作業を行って下さい。

適合車種は、CB1300SF - 02'用となっております。

その他の機種には取り付けられませんのでご注意ください。

取り付け作業に、ご不明な点などございましたら、当社までお問い合わせ下さい。



1 スタンダードマフラーをとりはずします。

まず、エキパイのフランジ部のナットとテールパイプステー部3ヶ所のボルト、ナットを外し、スタンダードマフラーを取り外します。このマフラー取り外しの際のボルト、ナット類はマフラーを取り付けるときに使用しますので無くさないように注意して下さい。また、ガスケットを点検し、損傷のある場合は、新品に交換して下さい。

2 センタースタンドストッパーの取り付け

ノーマルマフラー取り付けステー内側に別紙の方法でセンタースタンドストッパーを取り付けて下さい。

3 マフラーを取り付けます。

1 エキゾーストパイプのエンジンへの取り付け

エンジンにエキゾーストパイプ No.1, No.2, No.3, No.4 を取り付けます。また、フランジ部のナットは仮止めの状態(取り付けたパイプが少し動く程度)にしておいて下さい。

	部品名	数量
1	エキゾーストパイプ No 1	1
2	エキゾーストパイプ No 2	1
3	エキゾーストパイプ No 3	1
4	エキゾーストパイプ No 4	1
5	中間ジョイント R	1
6	中間ジョイント L	1
7	テールパイプ	1
8	サイレンサー	1
9	サイレンサーバンド	1
10	アルミカラー(ボルト付き)	1
11	スプリング	8
12	スタンドストッパー(ボルト付き)	1
Vシリーズは別売となっております。		
13	消音バフフル	1

2 中間ジョイント、テールパイプの取り付け

中間ジョイントR、Lにエキゾーストパイプの番号を合わせて差し込みます。そして中間ジョイントR、Lにテールパイプを差し込みます。入りにくい場合はプラスチックハンマーなどで、エキゾーストパイプを前方向からキズを付けないように注意して軽く叩いて下さい

3 エキゾーストパイプ、中間ジョイント、テールパイプにスプリングを掛けます。

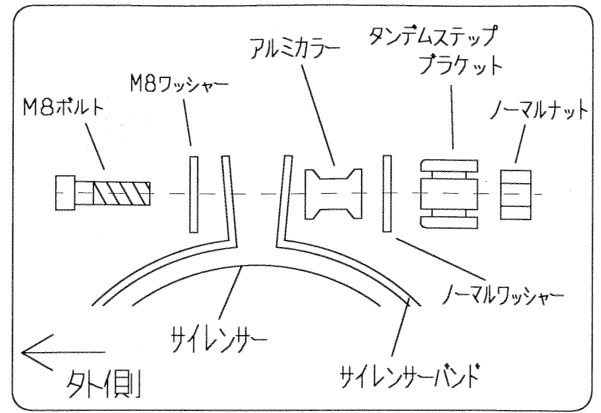
4 テールパイプにサイレンサーを差し込み、サイレンサーとテールパイプにスプリングを掛けます。

そしてサイレンサーにサイレンサーバンドを後ろから差し込み図のように組み立てて、仮止めして下さい。

5 最終取り付け

仮止めしたフランジ部のナットを本締めします。この際、フランジ部が傾いたりしないよう、左右のボルトは均等に締め込んで下さい。また、締め過ぎはスタッドボルトの破損を招きます。ご注意ください。

6 サイレンサーバンドのボルト、ナットを本締めして下さい。



4 最終確認

以上で作業は終了です。識別シールを剥がしマフラーに付着した汚れをよく拭き取ってからエンジンを始動して下さい。エンジンを始動したら車体への干渉、排気漏れ等がないかどうか確認して下さい。サイレンサーのエンブレム部にビニールシートが張り付けてある場合は、これを剥がしてください。

5 キャブレターセッティングについて

ファサームマフラーは、すべてスタンダードの状態です。従ってキャブレターのジェットの變更等、必要はありません。



注

- グラスウールは消耗品です。グラスウールの量が少ない状態で走行するとサイレンサーの故障につながる場合があります。当社にてグラスウール交換も行っております。
- 走行時、走行後は大変マフラーが高温になっています。火傷に気を付けてください。
- サーキット以外では決してバツフルを外さないで下さい。(Vシリーズは除外)

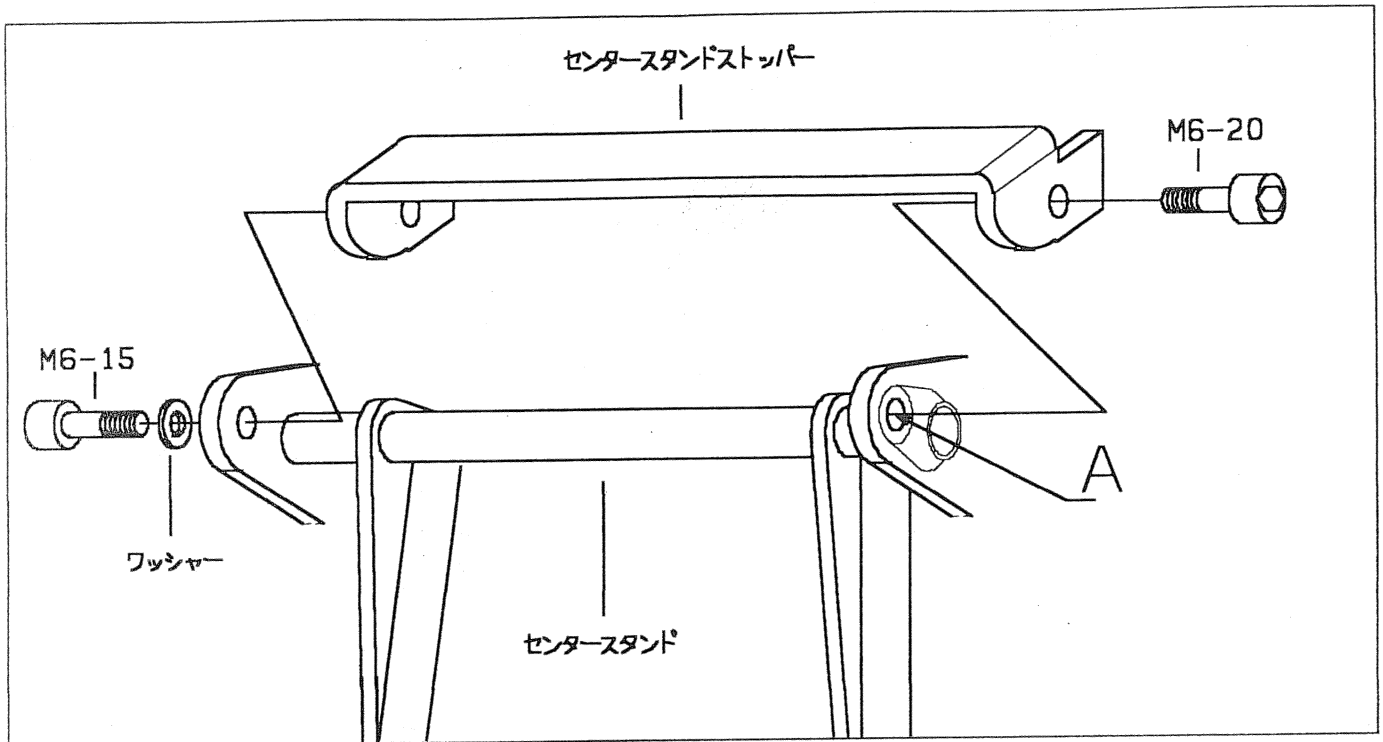
事故や転倒による修理につくまはしては、お受けできるケースと修理不可能な場合がありますが、ご依頼の際は一度お電話にてお問い合わせ下さい。その他、マフラー、オートバイなどに関して質問がございましたらお気軽にご連絡下さい。

NOJIMA ENGINEERING

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町7265-7 TEL 0593(78)3505 FAX 0593(70)7811

NT007

センタースタンドストッパーの取り付け方法



- 1 センタースタンドを立て、Aの純正ボルトをはずします。
- 2 センタースタンドストッパーを図の様に取り付けて、付属のボルトを仮締めします。
- 3 センタースタンドをたおして、ボルトを締め付けて終了です。
- 4 走行後に、締め付け確認を行って下さい。

注 98年式と99年式のセンタースタンドの付いて無い車輛には必要ありません。

NOJIMA ENGINEERING

ノジマ製品を安全にご使用いただくための注意事項

- * ご使用の前に必ずお読みください。
- * 取り扱い説明書に反した使用により損害が発生した場合、当社はその賠償の責を負いません。



警告

取付けは、整備資格を持った専門の方が行ってください。

取付け上の要因による事故トラブルに関しては、弊社は一切の責任を負いません。

- 1 取付けの際は同封の説明書をよく読んでから、作業手袋、作業着等を利用して慎重に作業を行って下さい。
- 2 必ずエンジン、マフラーが冷えきった状態で作業を行って下さい。作業全工程において裂傷、火傷をおう恐れがあります。十分ご注意下さい。
- 3 水平な場所で車体を安定させてから作業を行って下さい。作業中オートバイが倒れて怪我をする恐れがあります。
- 4 エンジンがかかった状態はもちろん、停止後もしばらくはマフラーが非常に高温になります。周囲に小さな子供が遊んでいないか、十分な作業空間があるか等、周辺の状態を十分把握し、火傷には十分ご注意下さい。また、近くにはガソリン等の燃えやすい物は絶対に置かないで下さい。引火により火災発生の原因になります。
- 5 ガレージ等の密閉された場所で長時間にわたりエンジンがかかった状態にすると、排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。暖機運転は換気が十分に行える場所で行って下さい。
- 6 エンジン停止時に空ブカシをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。エンジンを停止する際はテールエンドの近くに燃え易い物が無い事を確認してください。
- 7 取付け後は取り外しを行ったボルト、ナット類が締まっているか、マフラー、パーツが車体各所と干渉していないかを十分に確認してからエンジンを始動して下さい。また、エンジンを始動後すぐには走行せず、しばらくは暖機状態で、マフラー、パーツ周辺にガタ等がないか、排気漏れはないか確認してください。
- 8 製品によりスタンダードの状態に比べて、最低地上高が低くなっている場合があります。地面に擦るような無理な運転操作や、段差等で干渉しないように十分注意してください。無理な運転を行いますと、転倒事故につながる恐れがあります。
- 9 製品の分解、加工、改造は絶対行わないで下さい。製品の機能が損なわれ故障等の原因になります。



注意

- 1 定期的にメンテナンスを行って下さい。
- 2 安全走行を行う為に乗車前にはボルトやナットの緩みがないか、また取付けた製品にガタつきがないか等、必ず運行前点検を行いましょう。